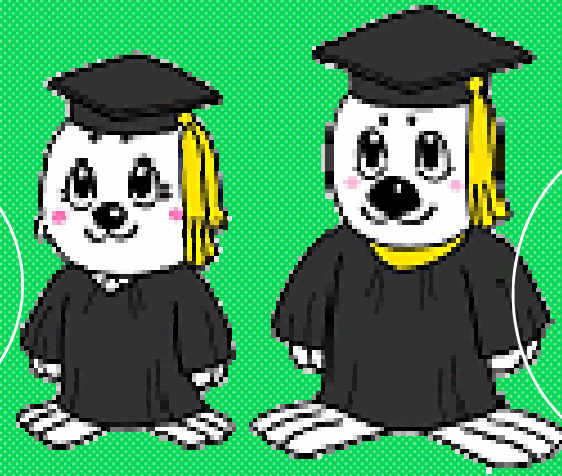
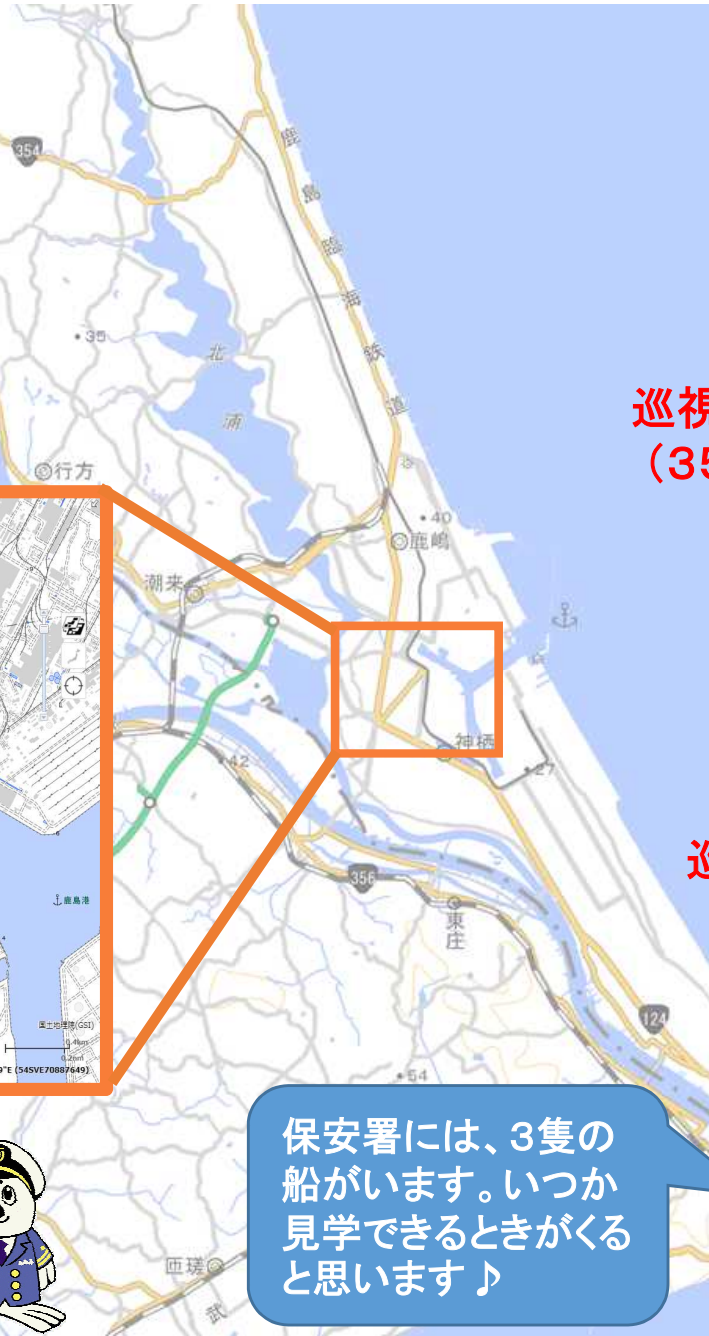


メルマガかしま



第2号（令和4年度）
鹿島海上保安署



巡視船ひたち PM55
(500トン型)



巡視艇よど PC51
(35㍓型(消防型))



巡視艇うめかぜ CL184
(20㍓型)



住所: 神栖市深芝9番地
鹿島合同庁舎3F
Tel: 0299-92-2601

鹿島海上保安署は、鹿島港の中央付近に位置し、隣には緑豊かな港公園があります。



保安署には、3隻の船がいます。いつか見学できるときがくるとおもいます♪



～オンラインによる「海の安全教室」～

オンラインによる講話の状況(7月7日実施)



ヘッドランドは立入禁止です!



この日は、約300人の生徒の皆さんに受講していただきました。



例年、当署では水難事故防止啓発活動の一環として、夏休み前に近隣の小・中学校に赴いて「海の安全教室」を開催しています。今年は新型コロナウイルスの感染状況を勘案して、オンラインによる授業をおこないました。

授業では、海で遊ぶ際に大切な「自己救命策」や「離岸流」の危険性などを取り上げました。

この日は、鹿嶋市立大野中学校の生徒の皆さんに講話をおこないました。

※ 自己救命策とは…① ライフジャケットの常時着用、② 連絡手段の確保、③ 海のものもは118番(海保緊急通報用電話番号)

離岸流とは…岸から沖へ向かって流れる海水の流れを言います。

～消防・警察との合同水難救助訓練～

救助訓練の状況

警察艇ときわ



消防水上オートバイ

巡視船ひたち複合艇

打ち合わせ状況



要救助者の揚収状況



令和4年7月13日(水)、当署は、神栖市日川浜海岸にて水難事故発生時の連携力の維持・向上を目的として、「鹿島地方事務組合消防本部」、「神栖警察署」と合同で水難救助訓練をおこないました。

訓練では、情報伝達訓練、漂流者揚収・引継ぎ訓練、漂流者搬送訓練を行い、2年振りの海水浴場開設を前に効果的な訓練となり、レジャーシーズンに向け万全の準備を整えることが出来ました。

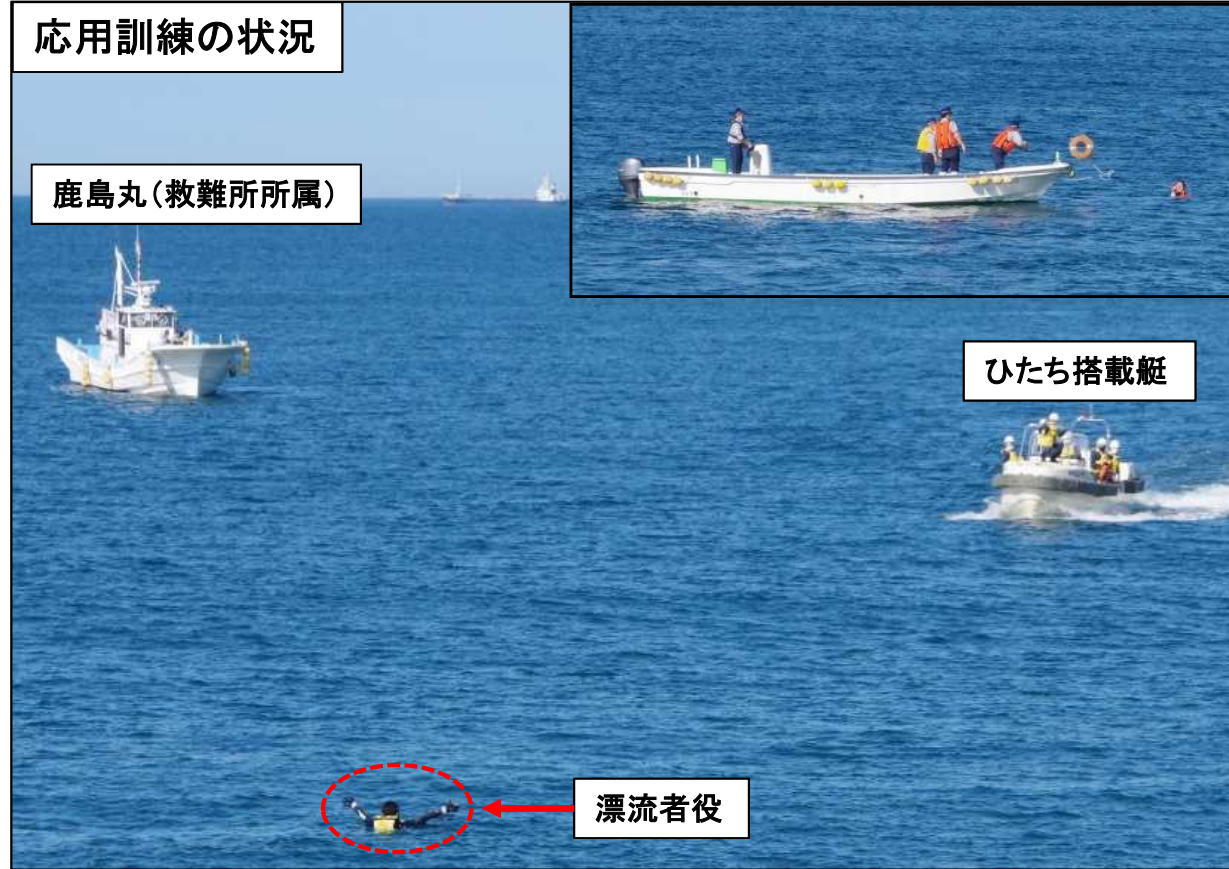
～水難救済会鹿島灘救難所との合同訓練～

応用訓練の状況

鹿島丸(救難所所属)



ひたち搭載艇



漂流者役

開会式



基本訓練(心肺蘇生法)



令和4年8月19日(金)、当署は、水難救助体制の連携強化を図ることを目的に、「茨城県水難救済会鹿島灘救難所」と合同で救難訓練をおこないました。訓練は、基本訓練(心配蘇生法)と応用訓練(搜索訓練及び漂流者揚収搬送訓練)に分けて実施し、応用訓練には、鹿島灘救難所所属船艇2隻と巡視船ひたちの搭載艇2隻が参加し、漂流者の揚収・搬送・引継ぎなどの現場対応を確認しました。鹿島灘救難所との合同訓練は16年振りとなり、とても有意義な訓練となりました。

※**水難救済会**とは…海や海浜での遭難者や船舶などを救助するボランティア団体。

鹿島灘救難所の所員の方々は普段、漁師として働いている人がほとんどです。

第15回 ^{アンダー} U-10 海ザルカップサッカー大会表彰

記念撮影



表彰式



うみまる



試合の様子



主催: 茨城県サッカー協会第4種 県東地区4種委員会
共催: (公財)海上保安協会鹿島支部ほか2団体
協賛: 鹿島海上保安署

僕も参加したよ!!
みんな元気いっぱい
かっこよかったよ♪



令和4年7月17日(日)、3年振りの開催となった、「海ザルカップサッカー大会(第15回)」において、優勝チームなどに対して、鹿島海上保安署長が表彰をおこないました。本大会には県東(鹿行)地域でスポーツ少年団として登録された全34チーム(小学校4年生以下で構成)が参加し、活気ある試合が繰り広げられました。

表彰式には、鹿島海上保安署長のほか、海上保安庁のマスコットキャラクター「うみまる」(潜水服Ver)も参加し、選手などと交流を深めました。

～関係機関との合同パトロール～



7月18日(月)、7月23日(土)、8月20日(土)、9月10日(土)、管内沿岸を当署、茨城県、警察と合同で海の安全啓発を目的とした合同パトロールをおこないました。

夏休みシーズンということもあり、多数の海浜レジャー客がおり、パンフレットを配布したりして海難防止を呼びかけました。茨城県沿岸に設置され、立入禁止となっている「ヘッドランド」周辺は、離岸流が発生しやすく、非常に危険な場所となっていることから、同所においても安全啓発活動を行いました。

～今夏の事故発生状況（速報値）～ 海の事故ゼロキャンペーン

海難の発生が増加傾向となる7月16日から8月31日までの間を「夏の事故ゼロキャンペーン」とし、海保のみならず、関係機関と連携した海難防止活動を展開しました。

今夏、茨城県では監視・救助体制（ライフセーバーの配置等）を整えた海水浴場が開設され、海水浴場での事故は、発生しなかったものの、ヘッドランド周辺における事故発生状況は横ばいとなっています。

当署管内（神栖市、鹿嶋市、銚田市一部区域）における事故発生状況は次のとおりです。

【統計】人身海難事故発生状況（速報値）＜前年同時期比＞

※船舶海難の発生は無し

- 事故発生総数 6件＜-4＞
- 活動内容 遊泳5件＜+1＞
溺者救助中1件＜±0＞
- 事故発生場所 ヘッドランド6件＜+4＞
- 死亡者数 2件＜-1＞
- 住居地 県内4件＜-3＞
この内外国人2件＜-1＞
県外2件＜±0＞
- 年代 10代未満 1件＜-1＞
10代 1件＜+1＞
20代以上 4件＜-4＞
- 発生時間帯 午前4件＜-1＞
午後2件＜-3＞

※過去5年間夜間の発生なし

ヘッドランド

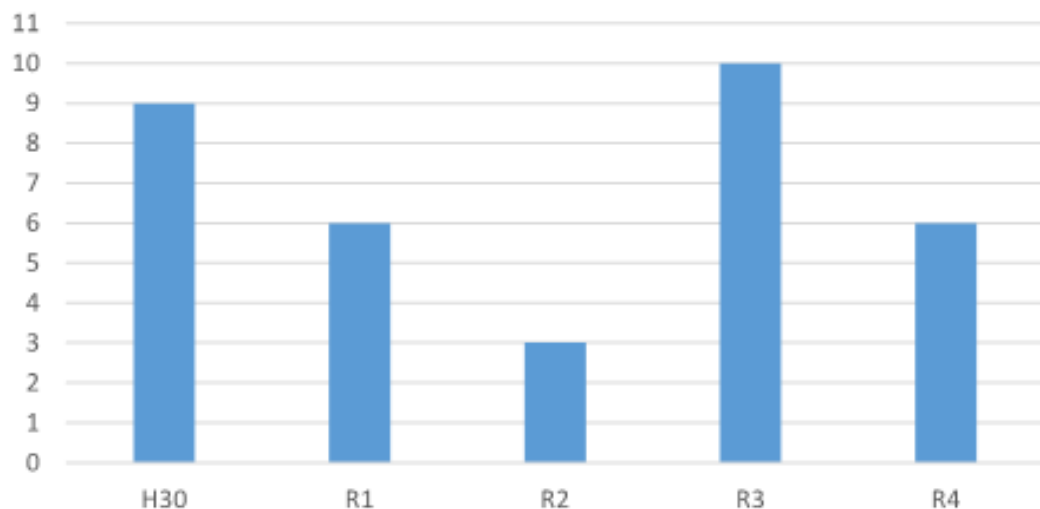


ヘッドランド、防波堤
は立入禁止です！

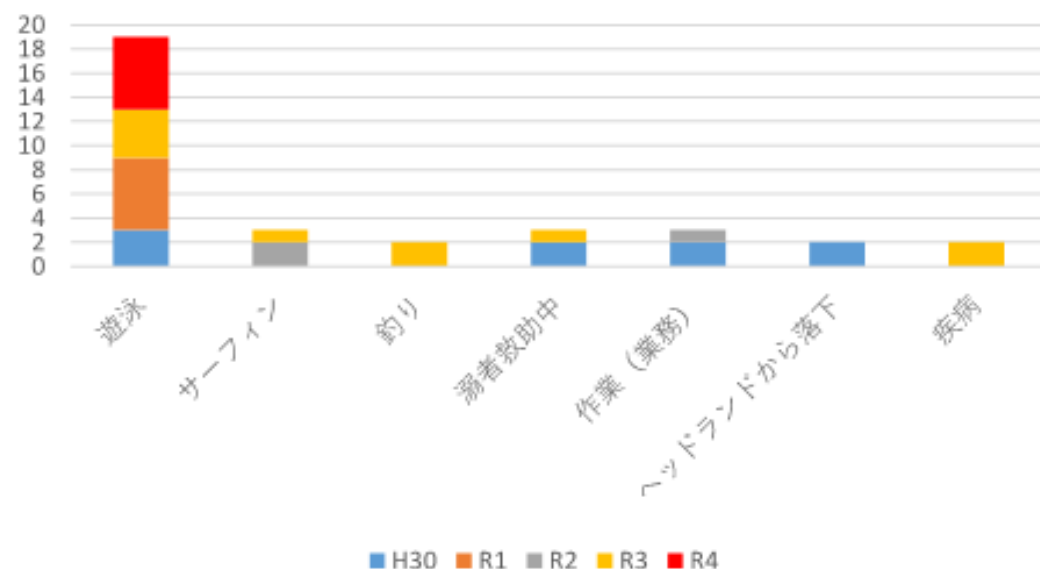


防波堤

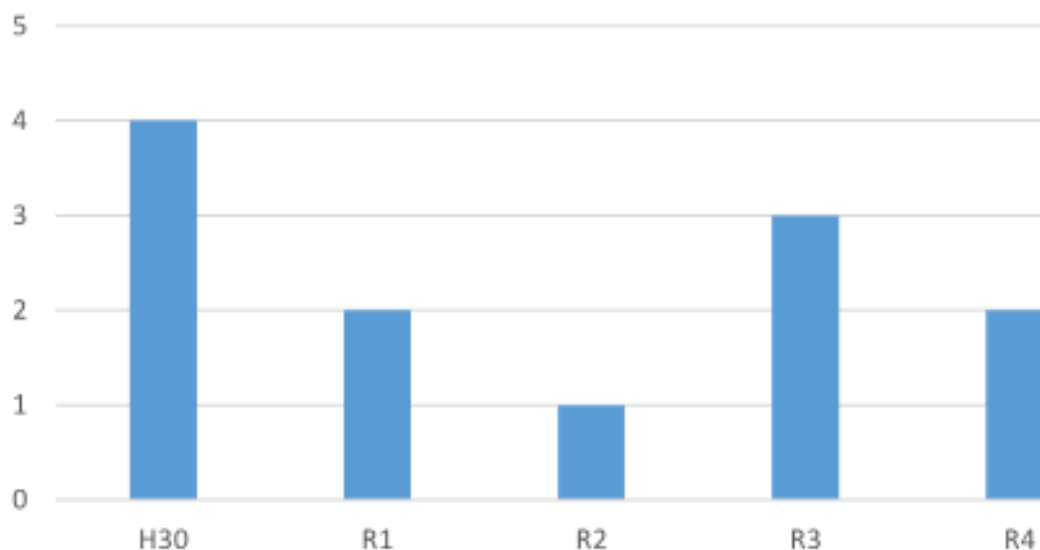
人身海難発生件数（人）



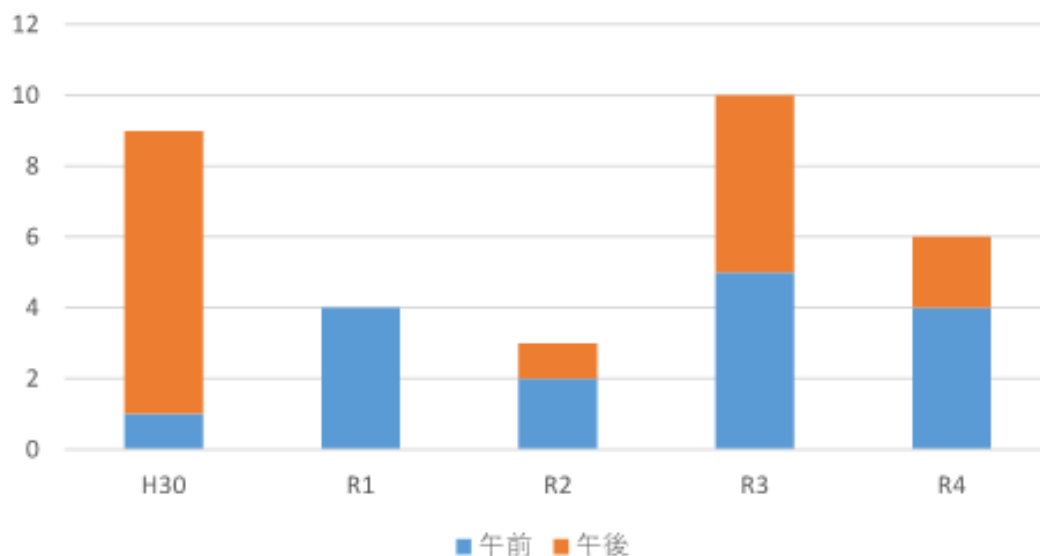
活動内容

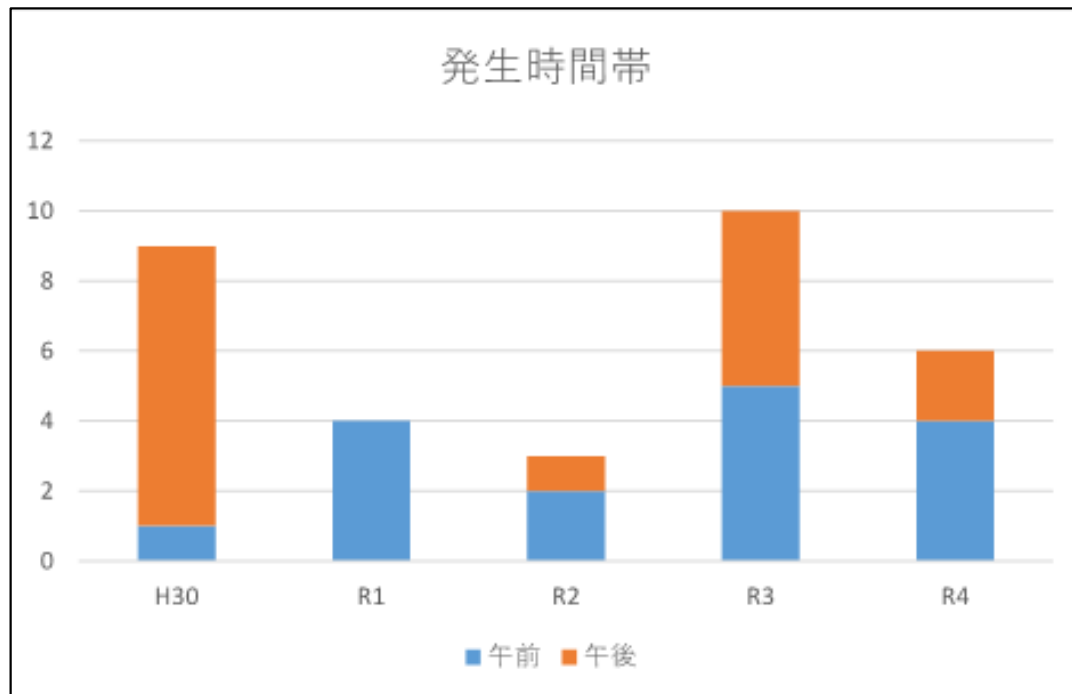
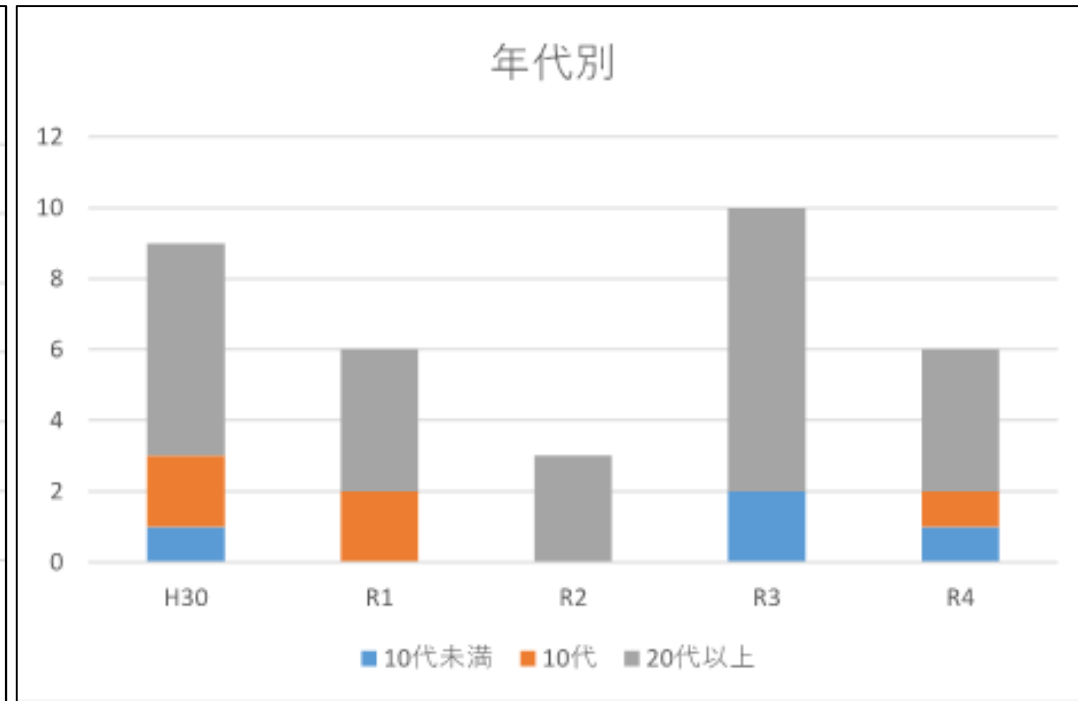
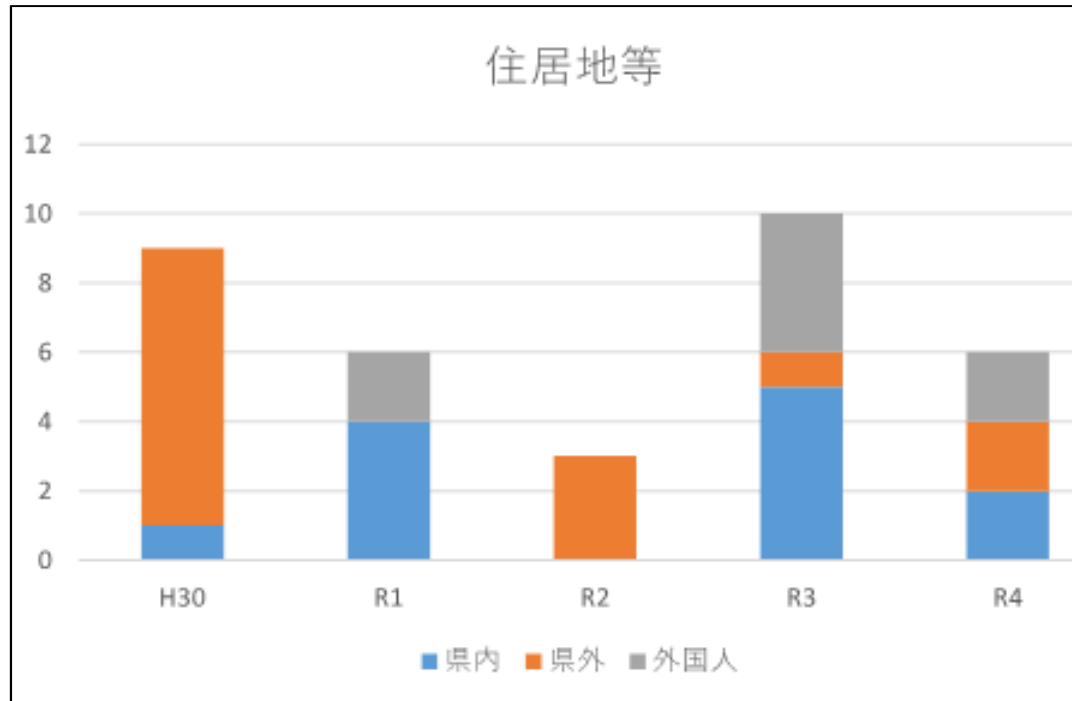


死亡者（人）



発生時間帯





今後も、水難事故防止啓発活動を続けていきます！
自治体と連携した外国の人の事故防止対策も実施予定です。

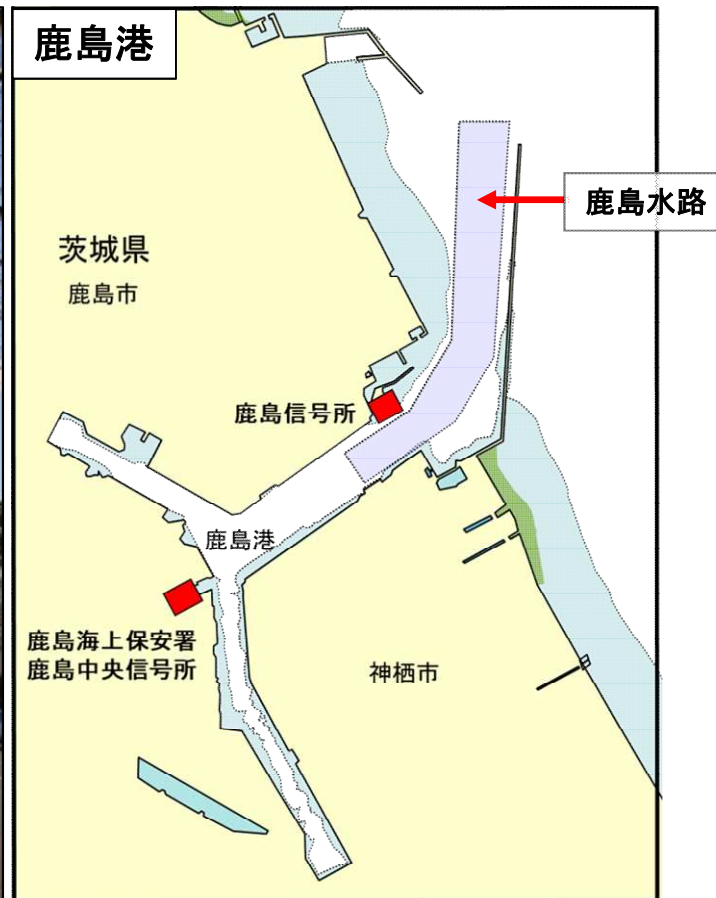


海にも信号機があります！！ ～鹿島港の港内交通管制業務～

鹿島中央信号所

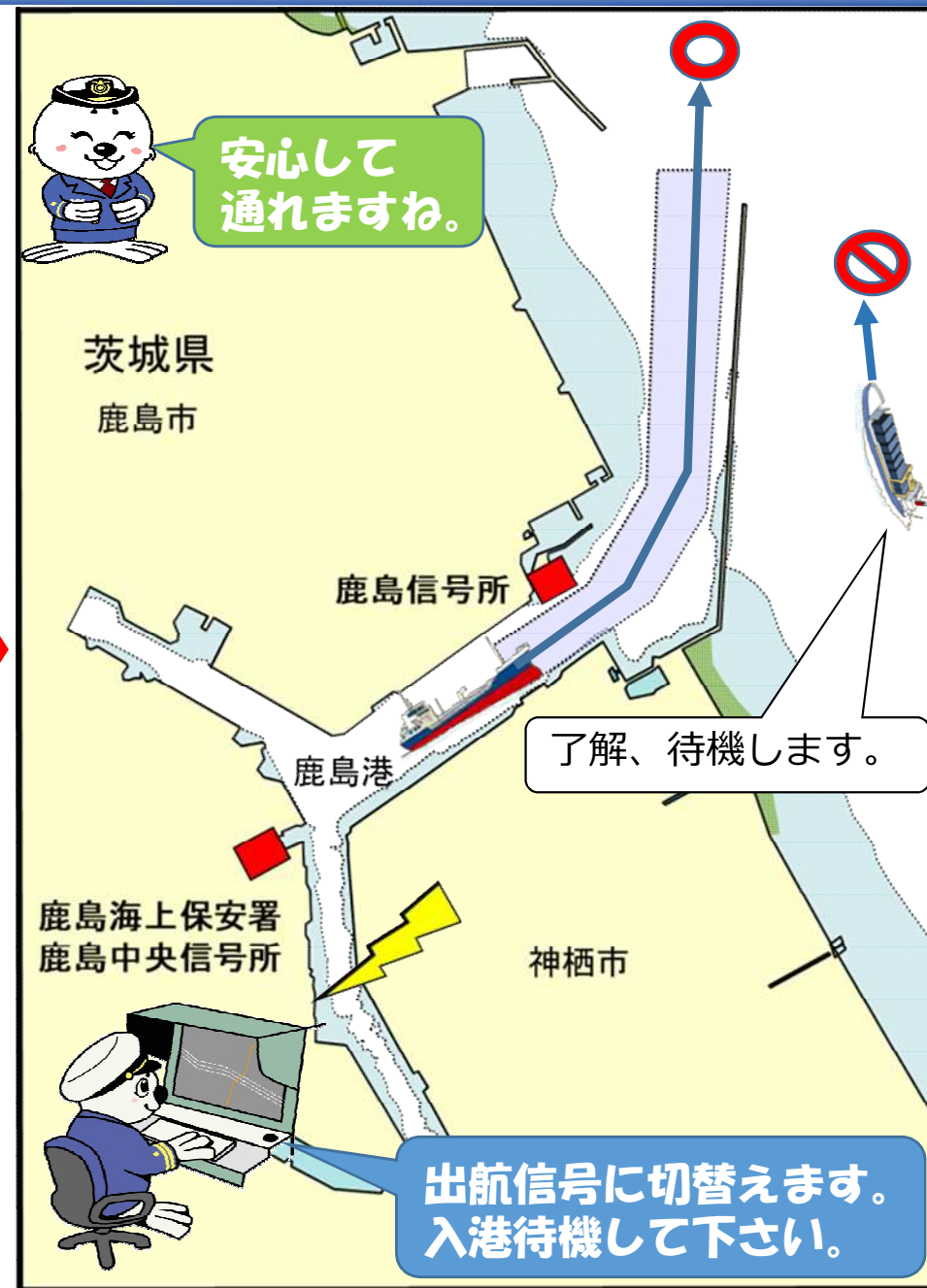
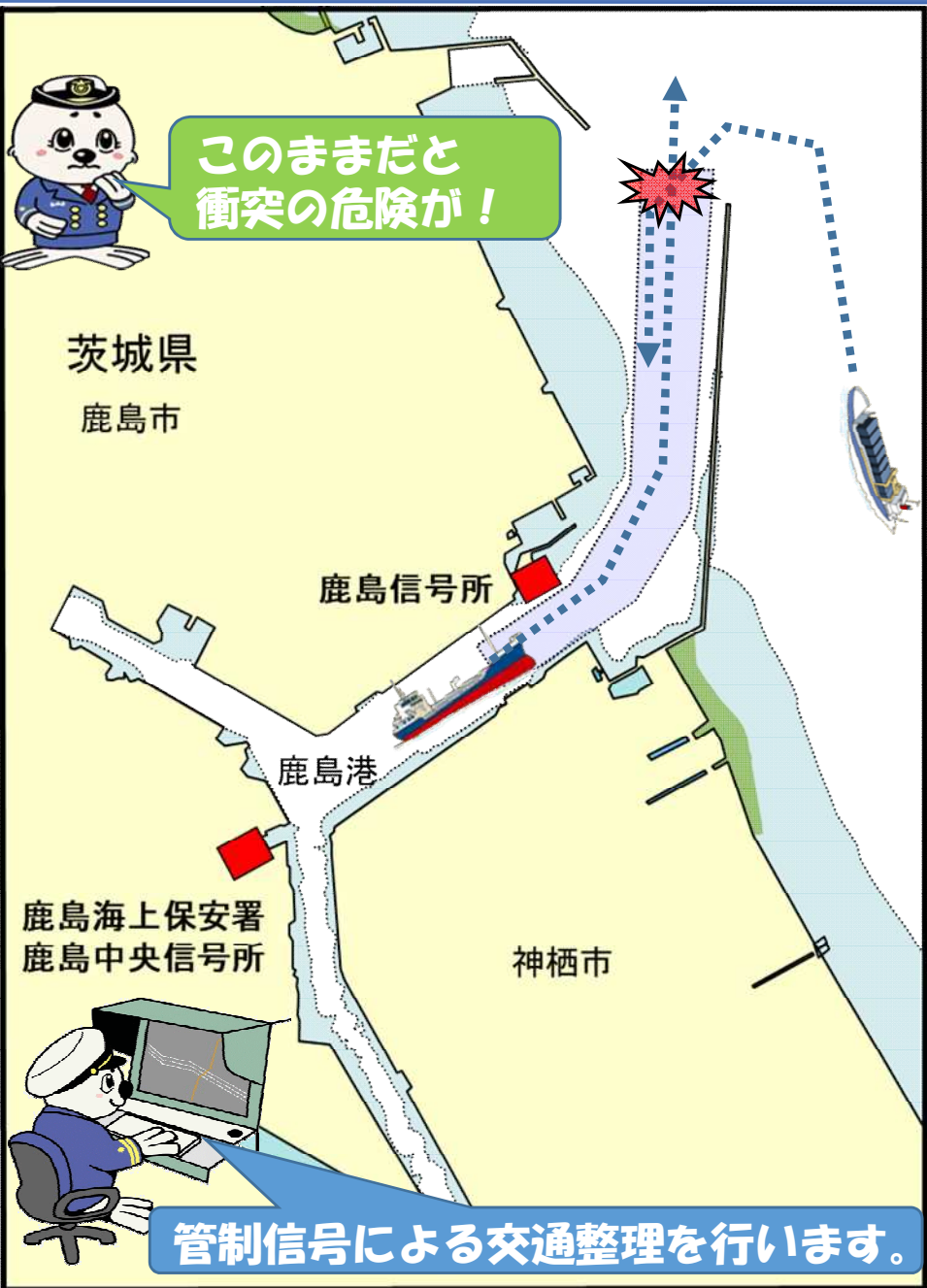


鹿島港

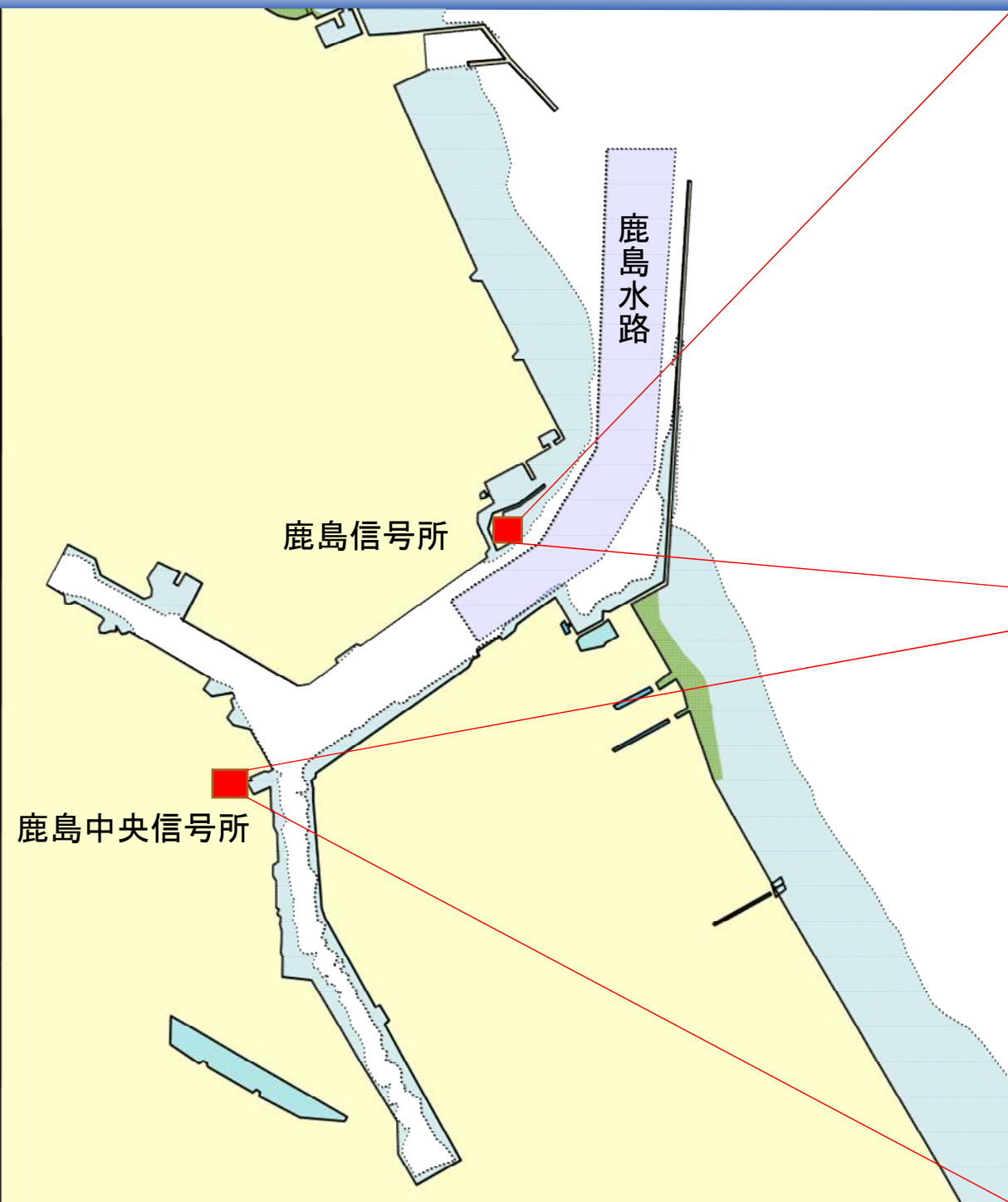


鹿島海上保安署には、「港内交通管制官（海の管制官）」が配置されています。

港内交通管制官は、鹿島港に出入りする船舶の動きを把握して管制計画を作成し、船舶の安全な運航に必要な情報を提供したり、鹿島水路を航行する船舶を信号で管制したりして、港内の交通整理などの業務を行っています。



- 港内交通管制官は、鹿島港に入出港する船舶の通報を受けて、管制計画を組み立てます。
- また、管制計画に合わせて信号を切替えるとともに、VHF無線等により事故防止のための情報提供を行います。



赤・白色の閃光方法を変化させる信号です。



電光文字式

アルファベットの「I」(入航信号)や「O」(出航信号)等を点滅させる信号です。

～港内交通管制官の部屋をのぞいてみた～

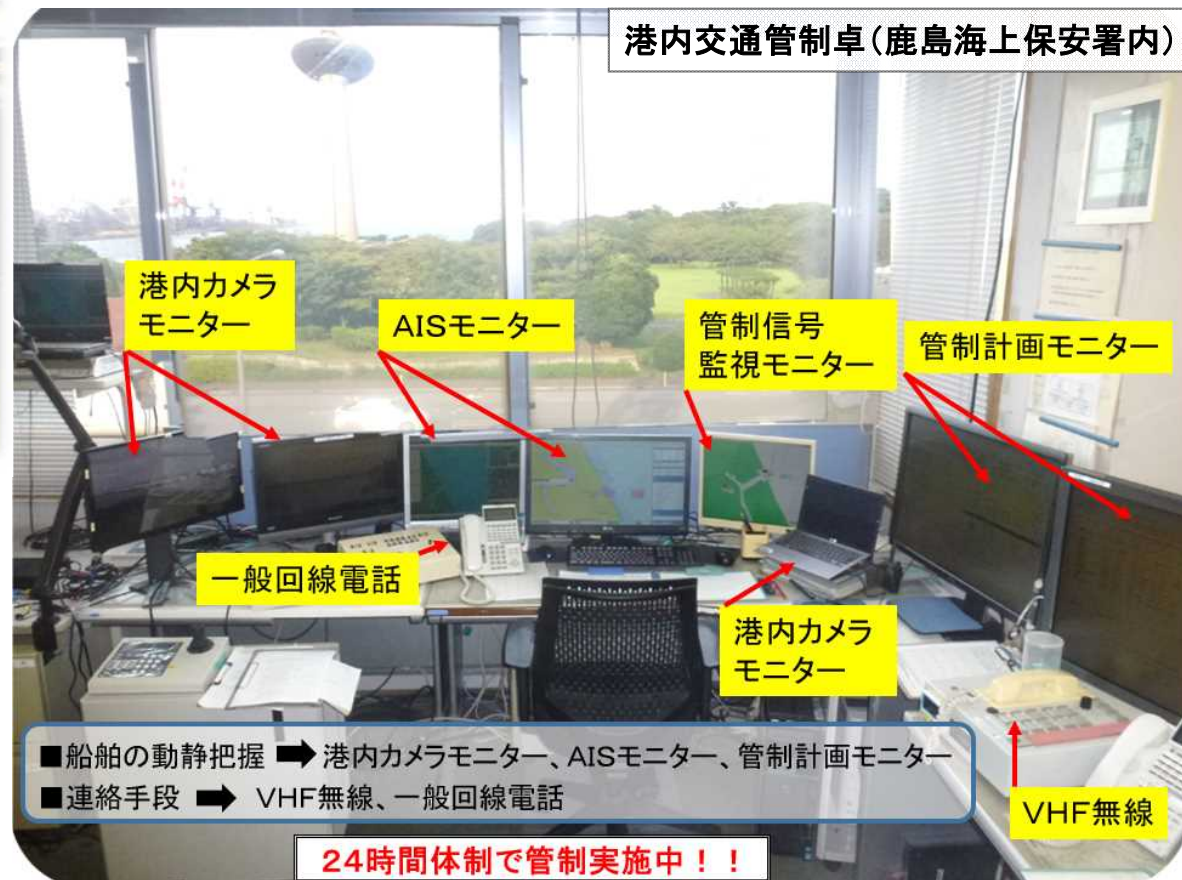


港内交通管制官

港内交通管制官は、24時間365日、様々な装置を使用して船舶の動静把握、信号の切り替え、情報提供などを行っています。



ここで鹿島港の船の交通をコントロールしているんだ！
た～くさんの画面や装置があるんだね。



港内交通管制卓(鹿島海上保安署内)

港内カメラモニター

AISモニター

管制信号監視モニター

管制計画モニター

一般回線電話

港内カメラモニター

VHF無線

■ 船舶の動静把握 ➡ 港内カメラモニター、AISモニター、管制計画モニター
■ 連絡手段 ➡ VHF無線、一般回線電話

24時間体制で管制実施中!!



巡視船艇



航空機



特殊部隊



陸上



様々な場所で活躍中！



次号もよろしくお願ひします！！



巡視船の船のなかでは
どんな生活をしてるん
だろう～？

